

第1号議案 2021年度事業報告に関する件 自2021年4月1日 至 2022年3月31日

1. 活動報告

1) シカの資源活用

- ①ロクジョウに関する調査（分析および市場調査等）として、ふもとつばら鹿食肉処理場および天城の森工房の協力を得て、幼角のサンプル2個を日本食品分析センターで成分分析を委託実施したが、必要成分が不十分との結果であった。その原因を検討し、今年度において再度分析を行う。また、ロクジョウを扱っている製薬会社を対象にアンケート調査を実施し、国産ロクジョウの普及の可能性を探った。
- ②富士宮特産品開発プロジェクトとして、シカ肉加工品、シカ革製品などの開発・普及として、富士宮市のレストランアリスのシェフの協力を得て、曾我漬け鹿肉のローストを、熱海において実施したシカ展で試食し、アンケート調査を行った。

2) シカエコツアー・皮なめし・革細工実習・展示会など教育・普及活動の実施

- ①国産シカ革を使った作家による製品作成と展示を熱海のシカ展(11月6, 7日)で実施した。
 - ②ワークショップ、シンポジウムなどの開催
新型コロナウイルスの影響により、11月の熱海シカ展のみの実施となった。
- 3) 森林整備活動 井戸理事（森のたね代表）を中心に、富士宮で実施した。

2. 総会・理事会の開催

6月に郵送・メールによる理事会・総会を開催した。

3. 普及啓発

- 1) 日本鹿研究第12号の発行を6月に刊行した。
- 2) 鹿ニュースの定期的な会員への配信を行った。

4. 国際交流・調査・研修

コロナの状況により第8回世界鹿大会（スロバキア）は再延期となった。

5. 組織整備

- 1) 幹事会、事務局会議の定期的な開催 4月29日、5月3日、23日、7月25日、10月10日、12月18日にオンラインで実施した。

- 2) 事業担当制による各理事・事務局員の責任分担制の推進
汪事務局員が会計を主担当し、また新たに編集を主に担当する石井会員が事務局員となった。
 - 3) 外部資金の獲得による財政体制の強化
「静岡アートカウンスル」および、「ふじのくに未来財団」の助成金に応募し、後者で採択された（22, 23 年度）
6. ホームページ、フェイスブックの定期的な更新を行った。
FB の更新は主に鴨下会員が実施した。